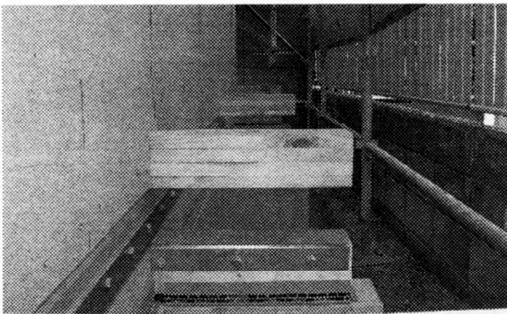


小平市に2棟目の免震住宅

従来の約半分のコストで設置

＝免震ハウス＝

免震ハウス（神奈川県厚木市、石原哲哉社長）が開発・販売している免震住宅の2棟目が現在、東京都小平市で建設されている。免震ハウスと日本国土開発が共同で開発した木造住宅対応型の免震システム。商品名は「アーマール」。シンプルで低コストの木造住宅すべり支承（国土交通大臣認定取得済み）によって従来の半分ほどのコストで設置できる。また、建物に直接取



り付けられるのでコストのかかる鉄骨フレームが不要のほか施工は大工でも可能。免震装置は、震度5弱から作動し、震度7クラスの地震でも震度

手前に出っ張っているのがすべり支承。

の予定。完成は10月末話す。にも合った」と話す。費用は半分ほどで済み、予算的に比べると設置している免震装置に比べると設置費用は半分ほどで済み、予算的に比べても合った」と話す。完成は10月末の予定。

5程度に低減できる。第1号は、一昨年神奈川県秦野市内の一般住宅に設置された。現在小平市で建設中の物件は、木造2階建てで延べ床面積は約116平方メートル。復元ゴム2基とすべり支承33基を用いて2日で取り付けを完了した。工事を手がけている鈴徳工務店の瀧本勝社長は「免震システムは施主からの希望であり、手がけたのは今回が初めて。市場に出ている免震装置に比べると設置費用は半分ほどで済み、予算的に比べても合った」と話す。完成は10月末の予定。

5程度に低減できる。第1号は、一昨年神奈川県秦野市内の一般住宅に設置された。現在小平市で建設中の物件は、木造2階建てで延べ床面積は約116平方メートル。復元ゴム2基とすべり支承33基を用いて2日で取り付けを完了した。工事を手がけている鈴徳工務店の瀧本勝社長は「免震システムは施主からの希望であり、手がけたのは今回が初めて。市場に出ている免震装置に比べると設置費用は半分ほどで済み、予算的に比べても合った」と話す。完成は10月末の予定。



記事に載った付近の写真です。